

批判的言語教育国際シンポジウム

未来を創ることばの教育をめざして

内容重視の批判的言語教育 (Critical Content-Based Instruction: CCBI) のその後

2018. 6. 30 (土) / 7. 1 (日) 武蔵野大学有明キャンパス

大会スケジュール

6/30

教室	3号館 301, 302	1号館 208	1号館 207	1号館 203
11:30	受付開始			
12:30	開会			
12:40	【基調講演】 楠見孝 (京都大学)			
13:30	休憩			
司会	森岡明美 (岡山大学)	縷縷憲子 (ノートルダム大学)	ロチャー松井恭子 (コロンビア大学)	
13:40	揺れる視点：議論を捉えた映画を使った批判的授業の展開 野田真理 (オハイオ州立大学)・寺田恵理 (早稲田大学)	ソーシャルネットワーキングアプローチ (SNA) に基づいた内容重視の批判的言語教育 (CCBI) の実践報告 ハント藤山裕子 (ハーバード大学)	商業雑誌のインタビューから考察する、ナラティブを引き出す会話ストラテジー 大塚明子 (専修大学)	
14:10	暗黙知の共有と価値の共創—言語文化教育のあり方を考える 李曉燕 (九州大学)	日本語ボランティア研修から〈鏡のホール〉へ、〈学びのエコシステム〉へ—「日本語ボランティア」「研修」再考 佐野香織 (早稲田大学)	琴線にふれる心と言葉の授業『ヒューマンエラー』 高倉 (林) あさ子 (カリフォルニア大学ロサンゼルス校)	
14:40	休憩			
14:50	【招待発表】内容重視の言語教育における「内容」とは何か—社会参加をめざす人間育成教育の意味 細川英雄 (言語文化教育研究所)			
15:20	休憩			
15:30	【パネルディスカッション】			
18:30	移動			
18:40	ラーニングバー or 懇親会 (会場：3号館のロハスカフェ)			

7/1 ポスター発表

ポスター 1	「漢字マップ」の可能性—教室コミュニティへの参加の道具として 関麻由美 (津田塾大学) 中上級を対象とした日本語教育の授業づくりの観点—教師は「内容」をどう扱うか 小林由依 (東京学芸大学大学院) 戦争を取り上げた日本語の連続授業から見えたもの—私たちが追求したい姿の一例として 萩原秀樹 (インターカルト日本語学校) 上級日本語学習者対象の「会話」の授業における CLIL 導入の可能性—大学院の教壇実習から 稲田直子 (東京学芸大学大学院修了生)・齋藤ひろみ (東京学芸大学) 論理的思考力向上のための日本語授業構築における教師の論理的・批判的思考力 松岡洋子 (岩手大学)
ポスター 2	日本語学習者の漢字学習における問題点及び内容重視の漢字指導法 ヴォロビヨワ・ガリーナ (ビシケク人文大学) 中国日系企業日本語研修の実践から—企業的視点・教育的視点 横田葉子 (淑徳日本語学校) CCBI に取り組むために：英国での課題とその問題点 葛西順子 (キングス・カレッジ ロンドン大学) 日本語教育におけるパラフレーズの扱いを再考する—「考える」ために必要な視点 鎌田美千子 (宇都宮大学) 対人思考力の醸成による世界市民 (Cosmopolitan) の育成をめざした日本語授業の実践 尹智鉉 (早稲田大学)

教室	1号館 208	1号館 207	1号館 203	1号館 201
司会	埴由起子 (ニューヨーク大学)	村田晶子 (法政大学)	近松暢子 (ディポール大学)	
9:00	市民性を育むための内容重視の批判的言語教育の試み —その意義と方法の検討 山森理恵 (横浜国立大学)	異分野融合と CBI に基づいた上級日本語コースのデザインと読み物の編纂 田島寛 (ブラウン大学)	内容重視の批判的日本語教育における協働内省活動の可能性 金志宣 (梨花女子大学)	
9:30	日本語の教育から民主的シティズンシップの教育へ 名嶋義直 (琉球大学)	日本語クラスにおける主権者教育の取り組み —法学専攻の日本語学習者を対象に 渡辺真由子 (首都大学東京)	対話・討論を中心とした協働学習活動から生まれるもの 山本かすみ (ウィリアムズ大学)	
10:00	内容重視の批判的言語教育 (CCBI) の批判的検討—タスク主導の言語教育 (TBLT) の観点から 百濟正和 (カーディフ大学)	EPA 介護士のための内容重視の批判的言語教育の試み—外国人介護人材のための持続可能な日本語教育をめざして 神村初美 (東京福祉大学)	批判的言語教育実践としてのピア・リーディング 近藤有美 (名古屋外国語大学)	
10:30	休憩			
11:00	ナラティブと自己と日本語教育の企画 西口光一 (大阪大学)	言語景観プロジェクトの CCBI への可能性 熊谷由理 (スミス大学)		(11:00 ~ 12:30) ポスター 1
11:30	TOK は日本語教育に貢献できるか 森岡明美 (岡山大学)	内容重視の批判的言語教育 (CCBI) をめざしたプロジェクト実践報告：ワークライフバランスプロジェクト 高見智子 (ペンシルベニア大学)		
12:00	ランチタイム			
司会	張珍華 (ウィリアムズ大学)	長谷川敦志 (ケンタッキー大学)	近松暢子 (ディポール大学)	(12:30 ~ 14:00) ポスター 2
13:00	大学における多文化共修と CCBI の接点 村田晶子 (法政大学)	環境人文学におけるカリキュラム横断型言語コースの試み： 「産業病 ミナマタ・フクシマ」 近松暢子 (ディポール大学)		
13:30	日本語多読授業に見る教員の変容 瀬藤憲子 (ノートルダム大学)	学際的アプローチによる中級日本語カリキュラムデザインの試み—多角的観点からの批判的思考力を育てるために ロチャー松井恭子 (コロンビア大学)		
14:00	休憩			(14:15 ~ 15:45) 言語教育を支える哲学原理 —現象学の原理と本質観取ワークショップ 稲垣みどり (早稲田大学)・ 岩内章太郎 (早稲田大学)
14:30	日本語教師のクリティカルリティ：セルフフレキシビリティの実践 高橋裕子 (マサチューセッツ大学アマースト校)	米国の日本の食文化コースにおける CCBI の実践の試み 加藤登茂子 (ウィリアム・アンド・メアリー大学)		
15:00	ベテラン日本語教師のナラティブの映像化とその教員研修への応用の試み 牛窪隆太 (関西学院大学)・金孝卿 (早稲田大学)・三代純平 (武蔵野美術大学)	Stereotype Detective： 日本文化の当たり前を疑う試み バンクス祥恵 (文教大学)	ことばの学びにおける「他者の存在」が生み出すもの—自国の「社会・文化」が意識に影響を及ぼす韓国人留学生の事例 滝井未来 (大阪大学)	
15:30	休憩			
16:00	日本語教師の批判的思考力をどのように育むか—ドイツ語教師用テキストシリーズ „Deutsch Lehren Lernen: DLL” に学ぶ 高坂千夏子 (首都大学東京)	「言語」と「内容」の繋がり： SPL の観点から 川光真二 (マサチューセッツ大学アマースト校)	「読むこと」を社会的実践とする国語科クリティカル・リーディング—クリティカル・リテラシーの観点から 澤口哲弥 (三重県立飯野高等学校)	
16:30	教師はどのようにして CBI の教材を生み出せるようになるのか —善元幸夫のライフストーリーから 南浦涼介 (東京学芸大学)	愛国心・メディア・宗教・性—第二言語、外語での教育実践を通して、私たちはどこまで行けるのか 山本湧里 (山口大学)	日本の多様性の批判的な読みをめざして—アメリカ大学日本語上級コースでの実践から 此枝恵子 (ベイツ大学)	
17:00	閉会			